

柚月裕子氏(作家)



菅義偉氏(第99代内閣総理大臣)



2024年度

読売Biz フォーラム



宮下宗一郎氏(青森県知事)



青木俊介氏(チューリング
最高技術責任者)



読売Bizフォーラム東北は、2024年度で6年目を迎えます。同時に読売新聞創刊150周年の節目にもあたります。これからも各界で活躍するリーダーや新時代を切り開いていく挑戦者たちを講師に招き、東北の経済、未来、地方創生などについて皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

読売Bizフォーラム東北入会のご案内

仙台でのフォーラムに加え、読売新聞社が他地域で開催するフォーラムなどの聴講案内、旬な話題を読売新聞記者が深く掘り下げて解説する「読売Bizレポート」の配信、また会員相互の交流や情報交換を目的として交流会を予定しています。

年会費

1口 **77,000円**(税込)

※2口目からは55,000円(税込)

ゲスト料金

1回 **16,500円**(税込)

※会員様ご同伴に限ります

別紙申込書に、必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。振込先の銀行口座をご案内します。

2024年度 講師プロフィール

第26回 菅義偉 第99代内閣総理大臣 5月27日(月) ウェスティンホテル仙台

1948年、秋田県雄勝郡秋ノ宮村(現・湯沢市)生まれ。高校卒業後、集団就職で上京し、会社員や議員秘書、横浜市議などを経て、96年衆議院選挙で神奈川12区から出馬し、初当選。総務大臣や官房長官を経て、2020年9月に第99代内閣総理大臣に就任した。在任中の1年間は新型コロナウイルス禍の真ただ中で、緊急事態宣言が3度も発令された。「ふるさと納税」の生みの親として知られるが、制度提唱の背景には農家の長男に生まれたのに家業を継がなかったことで、故郷に何か還元したいとの思いがあったという。座右の銘は「意志有れば道在り」。



第27回 柚月裕子 作家 7月2日(火) 仙台国際ホテル

1968年、岩手県釜石市生まれ。2008年に『臨床真理』で第7回「このミステリーがすごい!」大賞を受賞しデビュー。13年に「検事の本懐」で第15回大藪春彦賞、16年に『孤狼の血』で第69回日本推理作家協会賞(長編及び連作短編集部門)を受賞。18年に『盤上の向日葵』で「2018年本屋大賞」2位。その他、『慈雨』『合理的にあり得ない 上水流涼子の解明』『暴虎の牙』『月下のサクラ』『ミカエルの鼓動』『教誨』など。最新刊は故郷・岩手の南部鉄器職人を主人公にした家族小説で読売新聞に掲載した「風に立つ」(中央公論新社)。



第28回 宮下宗一郎 青森県知事 9月4日(水) ホテルメトロポリタン仙台

1979年、青森県むつ市生まれ。2003年東北大学法学部卒業後、国土交通省入省。東北地方整備局用地企画課長、本省まちづくり推進課及び建設業課で課長補佐を歴任。12年6月、外務省在ニューヨーク日本国総領事館で領事を務める。14年6月、当時むつ市長だった父・順一郎氏の急逝に伴う市長選に出馬、初当選。YouTubeなどSNS等での発信を重視しながら、市財政の立て直し、大規模植物工場誘致等による新産業創造、法定外普通税の導入などに尽力。23年6月の知事選に出馬、「青森新時代」を掲げて初当選。



第29回 青木俊介 チューリング最高技術責任者 11月5日(火) 仙台国際ホテル

1989年、神奈川県川崎市生まれ。米・カーネギーメロン大学計算機工学科で博士号取得。米国で自動運転車の開発・研究に従事し、サイバー信号機の開発や大手自動車会社の自動運転システムの開発に携わる。2021年より国立情報学研究所助教として青木研究室を主宰。名古屋大学特任准教授を兼任。21年8月、将棋AI「ポナンザ」を開発した山本一成氏と、完全自動運転のEV(電気自動車)を開発するチューリング株式会社を共同創業。取締役最高技術責任者(CTO)として技術部門を統括。人工知能による完全自動運転システムの実現を目指す。



※敬称略。講演の日程、会場は変更になる場合がございます。講師の肩書は2023年12月現在のものです。

2023
年度の
実績

- 第21回 C・アメージャン氏 (一橋大学名誉教授)
- 第22回 井上慎一氏 (全日空社長)
- 第23回 河野太郎氏 (デジタル大臣)
- 第24回 藻谷浩介氏 (日本総研首席研究員)
- 第25回 会員交流会



お問い合わせ

読売新聞 東北統括本部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-1-2 NMF仙台青葉通りビル5F

TEL022-224-7177